

令和2年度対日理解促進交流プログラム
「カケハシ・プロジェクト」 （米国）

最終事業報告書

業務実施期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

令和 4 年 5 月 31 日

一般財団法人 日本国際協力センター

I 実施業務概要

1. 業務実施期間： 2020 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
2. 実施業務項目
 - (1) 外務省及び国内外の関係機関との事業実施にかかる連絡調整、情報共有
 - (2) オンラインプログラムの企画・運営
 - オンラインプログラムの企画
 - バーチャルツアー、オンライン講義、オンライン学校交流等オンラインプログラムに係る手配、関係者との連絡調整
 - 参加者の募集、とりまとめ
 - Zoom Link の発行 参加者への送付
 - 関係者とのリハーサル
 - 個別の案件実施に係るプレスリリースの発出
 - オンラインプログラム当日のプログラム運営（プログラム進行統括、Zoom 操作、時間管理、出欠確認、司会進行、ファシリテーション等）
 - 通訳の手配
 - 講師との連絡調整（依頼状発出、謝金支払い等）
 - アンケートの実施、とりまとめ
 - 報告書の作成
 - オンラインプログラムに関する広報・フォローアップ管理業務 等
 - (3) 上記諸手配に係る経費の支払い
 - (4) 業務完了報告書・会計報告書の作成、提出

II 業務実施状況

1. 概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」は、将来を担う人材を米国との間で招へい・派遣し、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、また日本の外交姿勢や魅力について被招へい者・被派遣者自らに積極的に発信してもらうことで対外発信力を強化し、我が国の外交基盤を拡充することを目的としている。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、国境を越えた人の往来に制限がある中、当センターは、実際の招へい・派遣プログラムに代わるオンラインプログラムにおいて、プログラム目的にあった参加者の募集・選考、プログラムの企画・運営を担当し、オンラインでの講義、視察・意見交換、

文化体験、学校交流等を通して、日本の魅力を米国の参加者へ紹介し、日米両国の相互理解、関係構築を推進すべく業務を実施した。

なお、別途提出済の状況進捗表の人数と、この最終報告書に記載の総計人数とは一致しない。（状況進捗表では、カケハシ同窓生がプレプログラムにも参加した場合、ダブルカウントしている。）

(1) 招へいプログラム（オンラインプレ招へい）

米国の高校生、大学生、大学院生、社会人 697 名に対し、オンラインによるプレ招へいを行った。

2020 年度（令和 2 年度）予算によるオンラインプレ招へいプログラム実施時期は 2021 年 2 月～2022 年 3 月。

タイトル	対象	米国人数	実施日	学校名／団体名
1. イノウエ・プログラム （立教大学×ランドルフ・ メーコン・カレッジ）「日本 文化紹介＋交流」	大学生	35 名	2021/02/16	ランドルフ・メーコン・カレ ッジ
2. イノウエ・プログラム （立教大学×ランドルフ・ メーコン・カレッジ）「講義 ＋ディスカッション」	大学生	35 名	2021/02/18	ランドルフ・メーコン・カレ ッジ
3. イノウエ・プログラム （立教大学×ランドルフ・ メーコン・カレッジ）「講義 ＋ディスカッション」	大学生	35 名	2021/02/25	ランドルフ・メーコン・カレ ッジ
4. イノウエ・プログラム （立命館大学×ハワイ・パ シフィック大学）	大学生	11 名	2021/03/02	ハワイ・パシフィック大学
5. イノウエ・プログラム （関西学院大学×ヘンド リックス・カレッジ）	大学生	18 名	2021/03/12	ヘンドリックス・カレッジ
6. 大学生招へい（ノース ウェスタン大学）（名城大 学）	大学生	24 名	2021/05/18	ノースウェスタン大学
7. 米国 ホストタウン講 義	高校生 大学生 社会人	24 名	2021/05/28	

8. アジア系青少年招へい (福島大学)	大学生	18 名	2021/06/16	アジア太平洋系米国人議会研究協会 (APAICS)
9. 日系青少年招へい (岐阜大学)	大学生 大学院生	32 名	2021/06/29	日系米国人市民同盟 (JACL)
10. 日系青少年招へい (和歌山大学)	大学生 大学院生	33 名	2021/06/30	日系米国人市民同盟 (JACL)
11. ジャパンボウル招へい (白馬高校)	高校生 大学生	9 名	2021/07/06	
12. ブラック・コーカス財団インターン招へい (大阪大学・関西学院大学)	大学生	31 名	2021/07/15	ブラック・コーカス財団
13. スポーツ招へい(柔道)	大学生 社会人	10 名	2021/08/03	
14. 高校生招へい(テーマ: 日本語・日本文化)(レバノン高校、ルネッサンス高校)(六義園バーチャルツアー)	高校生	10 名	2021/08/03	レバノン高校、ルネッサンス高校
15. ユダヤ系米国人招へい(ブネイブリス)(被爆者講話・お盆の風習ウェビナー)	社会人	12 名	2021/08/18	ブネイブリス・インターナショナル
16. ユダヤ系米国人招へい (AJC) (被爆者講話・座禅体験)	社会人	15 名	2021/08/20	米国ユダヤ人協会 (AJC)
17. イノウエ・プログラム (ハワード大学×敬和学園大学)	大学生	10 名	2021/09/02	ハワード大学
18. 高校生招へい (テーマ: 日本語・日本文化)(カーソン高校、ガーデナ高校、ウォバッシュ高校)(名古屋大学教育学部附属高等学校)	高校生	25 名	2021/09/03	カーソン高校、ガーデナ高校、ウォバッシュ高校

19. イノウエ・プログラム (ノースイースタン州立 大学×北海道大学)	大学生	26 名	2021/09/08	ノースイースタン州立大学
20. 大学生招へい(テー マ: 日本語・日本文化)(メ ンフィス大学、カリフォル ニア州立大学イースト・ベ イ校、ハンター・カレッジ、 マーシャル大学)(吉備国 際大学)	大学生 大学院生	38 名	2021/09/09	カリフォルニア州立大学イー ストベイ校、ニューヨーク市 立大学ハンター校、マーシャ ル大学、メンフィス大学
21. 大学生招へい(テー マ: 日本語・日本文化)(オ ハイオ大学、ウィスコンシ ン大学マディソン校、リー ハイ大学)(小松大学)	大学生	30 名	2021/09/10	ウィスコンシン大学マディソ ン校、オハイオ大学、リーハ イ大学
22. 高校生招へい(テー マ: 気候変動・環境)(ヘレ ナ高校)(東邦高等学校)	高校生	10 名	2021/09/14	ヘレナ高校
23. 日本語弁論大会成績 優秀者招へい(神奈川大 学)(プレ招へい)	大学生 大学院生	31 名	2021/09/17	
24. 若手研究者招へい(谷 口先生講義)	大学生 大学院生 社会人	75 名	2021/09/21	
25. 高校生招へい(テー マ: 科学技術)(ワイアルア 高校)(呉工業高等専門学 校)	高校生	9 名	2021/09/22	ワイアルア高校
26. 大学生招へい(テーマ: 気候変動・環境)(中央フロ リダ大学、グアム・コミュニ ティ・カレッジ)(山形大学)	大学生	22 名	2021/09/25	グアム・コミュニティ・カレ ッジ、中央フロリダ大学
27. 沖縄プログラム(ワイ アケア高校×久米島高校)	高校生	20 名	2021/09/27	ワイアケア高校
28. 高校生招へい(テー マ: 日本語・日本文化)(ワ シントン DC コロンビアハ	高校生	31 名	2021/09/28	ワシントン DC コロンビアハ イツ・エデュケーショナルキ ャンパス高校、ベレア高校

イツ・エデュケーショナル キャンパス高校、ベレア高 校）（広陵高校）				
29. 沖縄プログラム（チャ ーチル高校、ルーズベルト 高校×具志川高校、名護高 校）	高校生	31 名	2021/09/30	チャーチル高校、ルーズベル ト高校
30. 大学生招へい（テーマ： ソーシャルイノベーションと 起業）（マイルス・カレッジ） （明治大学）	大学生	16 名	2021/09/30	マイルス・カレッジ
31. 若手研究者招へい（防 衛省講義）	大学生 大学院生 社会人	13 名	2021/11/04	
32. 高校生招へい（テーマ： 日本語・日本文化）（レバノ ン高校、ルネッサンス高 校）（九里学園高校）	高校生	16 名	2021/11/18	レバノン高校、ルネッサンス 高校
33. 若手研究者招へい（勝 間先生講義）	大学生 大学院生 社会人	6 名	2021/12/03	
34. 日本語弁論大会成績 優秀者招へい（神奈川大 学）	大学生 大学院生	6 名	2022/03/15	
	総計	697 名		

(2) 派遣プログラム（オンラインプレ派遣）

日本の高校生、大学生、大学院生、専門学校生 127 名に対し、オンラインによるプレ派遣プログラムを行った。2020 年度（令和 2 年度）予算によるオンラインプレ派遣プログラムの実施時期は 2021 年 3 月～2021 年 9 月。

タイトル	対象	日本人数	実施日	学校名/団体名
1. 「アメリカで沖縄の未来 を考える（TOFU）」プログラ ム（東京派遣プログラム）	高校生 大学生 専門学校生	14 名	2021/03/25	
2. イノウエ・プログラム	大学生	30 名	2021/09/02	敬和学園大学

(ハワード大学×敬和学園大学)				
3. イノウエ・プログラム (ノースイースタン州立大学×北海道大学)	大学院生	4 名	2021/09/08	北海道大学
4. 高校生派遣(太平洋戦争博物館) 防衛省講義	高校生	24 名	2021/09/18	追手門学院高校、追手門学院大手前高校、太宰府高校、筑紫高校
5. 高校生派遣(太平洋戦争博物館) 学校交流	高校生	24 名	2021/09/25	追手門学院高校、追手門学院大手前高校、太宰府高校、筑紫高校
6. 沖縄プログラム(ワイアケア高校×久米島高校)	高校生	11 名	2021/09/27	久米島高校
7. 沖縄プログラム(チャーチル高校、ルーズベルト高校×具志川高校、名護高校)	高校生	20 名	2021/09/30	具志川高校、名護高校
	総計	127 名		

(3) フォローアッププログラム(オンライン FU)

米国・日本の高校生、大学生、大学院生、専門学校生 251 名に対し、オンラインによるフォローアッププログラムを行った。2020 年度(令和 2 年度) 予算によるフォローアッププログラムの実施時期は 2020 年 11 月～2022 年 3 月。

タイトル	対象	米国・日本人 数	実施日	学校名／団体名
1. カケハシ・プロジェクト同窓会「コロナ時代の国際交流」第 1 回	高校生 大学生	33 名(米国 9 名、日本 24 名)	2020/11/08	
2. カケハシ・プロジェクト同窓会「コロナ時代の国際交流」第 2 回	高校生 大学生	22 名(米国 9 名、日本 13 名)	2020/12/06	
3. 日米加同窓会	高校生 大学生 大学院生 社会人	99 名(米国 85 名、日本 14 名)	2021/01/15	
4. 同窓生主催 同窓会(ホームタウンバーチャルツア	大学生 社会人	14 名(米国 10 名、日本 4	2021/06/05	

一)		名)		
5. 同窓生主催 同窓会 (社会問題についての意見交換会)	大学生 大学院生 社会人	25 名(米国 16 名、日本 9 名)	2021/09/26	
6. AJC 外交官とのネット ワーキングイベント	社会人	米国 17 名	2022/03/03	米国ユダヤ人協会(AJC)
7. ブネイブリス ネット ワーキングイベント	社会人	米国 6 名	2022/03/04	ブネイブリス・インターナシ ョナル
8. カケハシ・イノウエ・プ ログラム同窓会	大学生	米国 35 名	2022/03/09	ハーワード大学、ジョージワシ ントン大学
	総計	251 名(米国 187 名、日本 64 名)		

2. プログラム内容

(1) 招へいプログラム(オンラインプレ招へい)

オンラインプレ招へいプログラムでは、2020 年 11 月に実施した全カケハシ同窓生対象の同窓会プログラムに始まり、様々なプログラムを実施した。カケハシ・イノウエ・プログラムでは、相互交流校となっている大学同士でバーチャルキャンパスツアーやグループ交流を行い、友好を深めた。米国各地の日本国在外公館から推薦された大学、高校については、“日本語・日本文化”、“科学技術”、“気候変動・環境”などのテーマにもとづき、日本の高校、大学とのオンライン交流を実施した。そのほかにも、沖縄プログラム、日本語弁論大会成績優秀者プログラムでのオンライン交流、若手研究者向けのオンライン講義などを実施した。そのほかにも、東京オリンピック・パラリンピック大会に先立ち、5 月に「ホストタウン講義」を実施するなど、時機をとらえたプログラムを行い、参加者の SNS 発信につなげた。日系米国人市民同盟(JACL)、アジア太平洋系米国人議会研究協会(APAICS)、ジャパンボウル、ブラック・コーカス財団、米国ユダヤ人協会(AJC)、ブネイブリス・インターナショナル等、カケハシ招へいプログラム常連の団体向けにも学校交流や、被爆者講義など、それぞれの興味にあったプログラムを企画し実施した。いずれも、参加者の満足のいくように、インタラクティブな内容を含むプログラムであった。

(2) 派遣プログラム(オンラインプレ派遣)

オンラインプレ派遣プログラムでは、まず、2020 年 3 月に、米国へ派遣される予定であった沖縄の学生のうち希望者が、代替として東京に派遣された。その東京派遣プログラムの中で、米国マーブルヒル高校とのオンライン交流を実施した。そのほかにも、イノウエ・プログラム、高校生派遣、沖縄プログラムにおいて、学校交流やオンライン講義を行った。いずれのプログラムでも、参加者が積極的に発言する様子が見られ、相互交流によって互いの文化や歴史、ものの見方を知る良い機会となった。

(3) フォローアッププログラム（オンライン FU）

フォローアップ（FU）プログラムについては、カケハシ同窓会実行委員会が主体的に企画運営したオンラインプログラムを2回実施した。また、社会人参加者向けには、日本の若手外交官との交流や浅草のすし職人講話を含むオンラインプログラムを実施し好評を博した。

3. 参加者アンケート結果

(1) 招へいプログラム（オンラインプレ招へい）

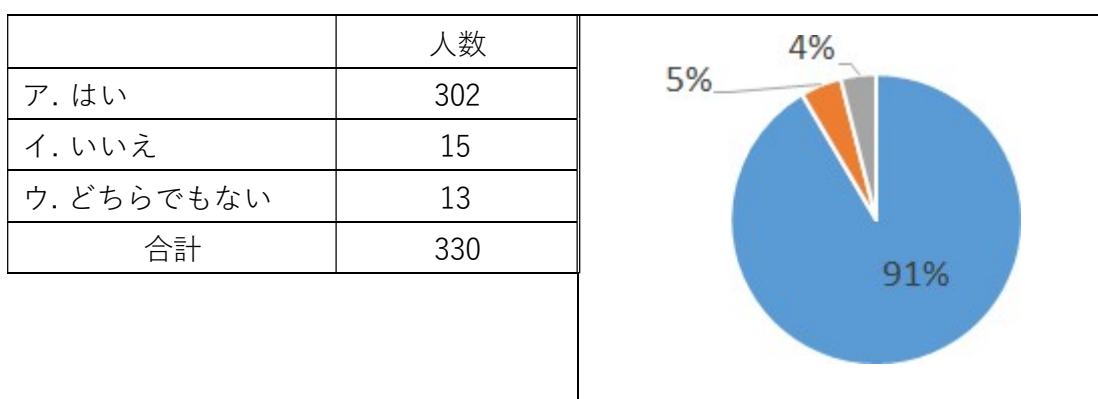
オンラインプログラム実施後にプログラムに関するアンケートを実施した。結果、米国の参加者（学生/社会人を含む）のうち402の回答があった。

【学校交流後アンケート】

1. オンライン交流に関する意見

(1) コロナ禍で渡航ができない中、オンラインで日本人や他の参加者と交流する機会は無効だと考えますか。

■ ア. はい ■ イ. いいえ ■ ウ. どちらでもない

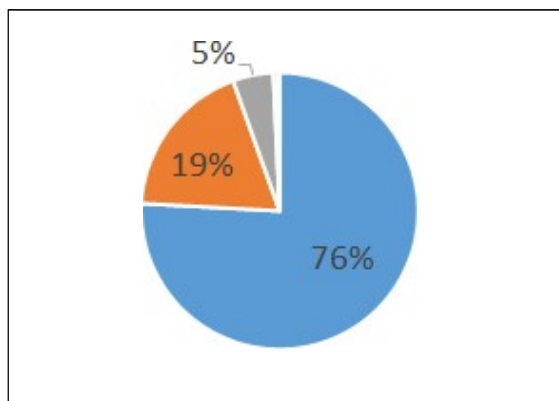


【プレ・プログラムについて】

(2) 今回のプレ・プログラムへの満足度を評価してください。

■ ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満 ■ オ. 不満

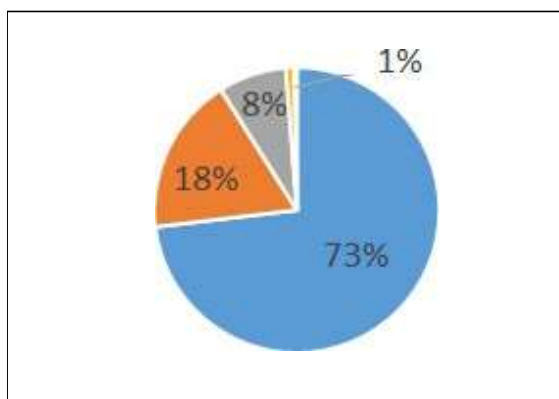
	人数
ア. 満足	305
イ. ほぼ満足	75
ウ. 普通	19
エ. やや不満	2
オ. 不満	1
合計	402



(3) プログラム内容は日本へ訪問する前の事前学習として役に立ちましたか？

■ ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満 ■ オ. 不満

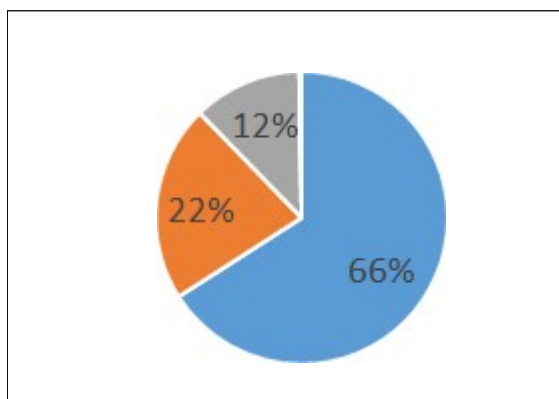
	人数
ア. 満足	294
イ. ほぼ満足	72
ウ. 普通	31
エ. やや不満	4
オ. 不満	1
合計	402



(4) プレ・プログラムに参加後、訪日への期待は高まりましたか。

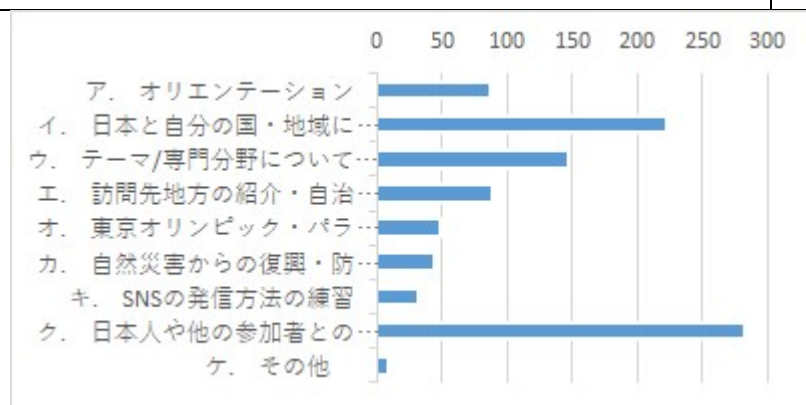
■ ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満 ■ オ. 不満

	人数
ア. 満足	252
イ. ほぼ満足	83
ウ. 普通	46
エ. やや不満	0
オ. 不満	1
合計	382



(5) 今回のプレ・プログラムで強く印象に残った内容は何ですか。(当てはまるものすべてに回答してください)

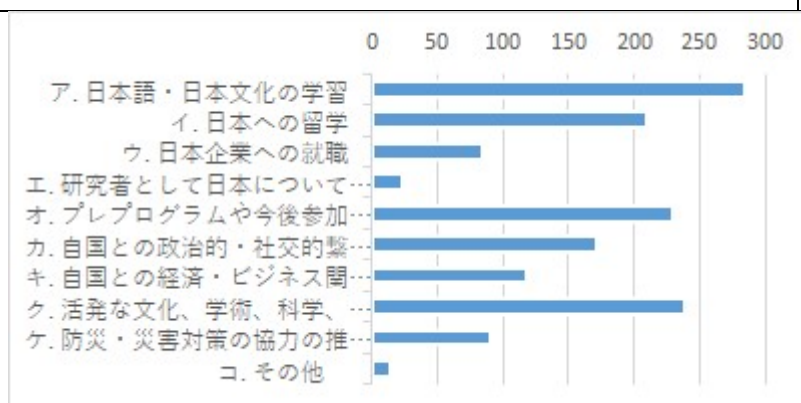
	人数
ア. オリエンテーション	87
イ. 日本と自分の国・地域についての講義・意見交換	222
ウ. テーマ/専門分野についての講義・意見交換・オンライン視察	147
エ. 訪問先地方の紹介・自治体表敬・オンライン訪問	88
オ. 東京オリンピック・パラリンピック関連情報	48
カ. 自然災害からの復興・防災対策	44
キ. SNSの発信方法の練習	32
ク. 日本人や他の参加者との意見交換・交流	283
ケ. その他	8
合計	959



(6) 現時点で、日本との関わりについて、関心があるものは何ですか。(複数選択可)

	人数
ア. 日本語・日本文化の学習	285
イ. 日本への留学	210
ウ. 日本企業への就職	84
エ. 研究者として日本について専攻	23
オ. プレ・プログラムや今後参加予定の訪問先で出会った人との繋がりを維持・強化	229
カ. 自国との政治的・社会的繋がりの強化に関する活動への参加	171
キ. 自国との経済・ビジネス関係の強化に関する活動への参加	118
ク. 活発な文化、学術、科学、スポーツ等の交流の推進に関する活動への参加	238

ケ. 防災・災害対策の協力の推進に関する活動への参加	91
コ. その他	15
合計	1464



(7) 現時点で、将来、日本との関係を個人的にどのように発展させたいと考えていますか。(複数選択可)

	人数
ア. プレ・プログラムや訪問予定地で出会った人との繋がり維持・強化	270
イ. 自国との政治的・社会的繋がり強化に関する活動への参加	177
ウ. 自国との経済・ビジネス関係強化に関する活動への参加	122
エ. 活発な文化、学術、科学、スポーツ等の交流の推進に関する活動への参加	236
オ. 防災・災害対策の協力の推進に関する活動への参加	102
カ. その他	2
合計	909



(8) 日本の何に関心を持ち、発信しましたか。(複数選択可)

	人数
ア. 社会（言語、国民性、マナー）について	94
イ. 歴史・文化について	49
ウ. スポーツについて	15
エ. 政治・外交関係（国際貢献・安全保障等）について	14
オ. 経済・貿易（先端技術、産業、商品・サービス等）について	13
カ. プレ・プログラム訪問の感想・訪日時の展望	104
キ. 東京オリンピック、パラリンピック関連情報	12
ク. 自然災害からの復興、防災対策	14
ケ. その他	28
合計	343

(2) 派遣プログラム（オンラインプレ派遣）

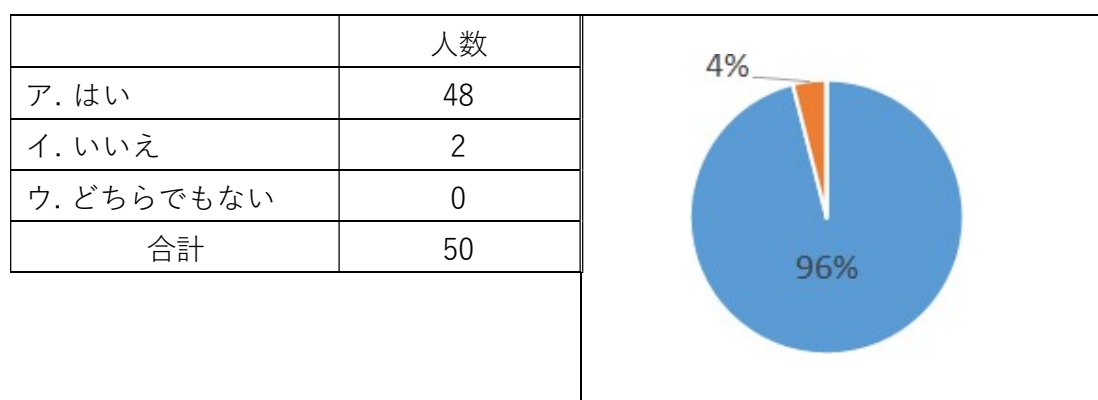
オンラインプログラム実施後にプログラムに関するアンケートを実施した。結果、日本の参加者（高校生、大学生、大学院生、専門学校生）のうち、69 の回答があった。

【学校交流後アンケート】

1.オンライン交流に関する意見

(1) コロナ禍下で渡航ができない中、オンラインで海外の人と交流する機会は有効だと思いますか。

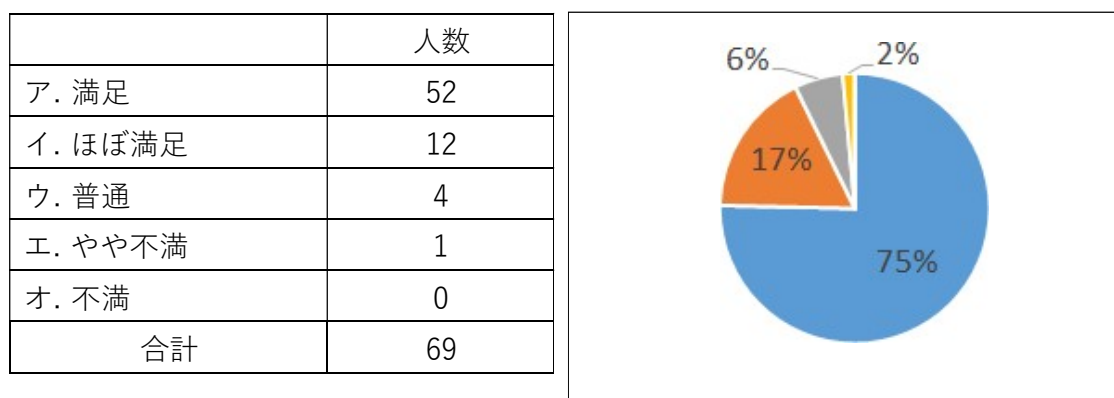
■ ア. はい ■ イ. いいえ ■ ウ. どちらでもない



【プレ・プログラムについて】

(2) プログラム内容は満足のいく内容でしたか。

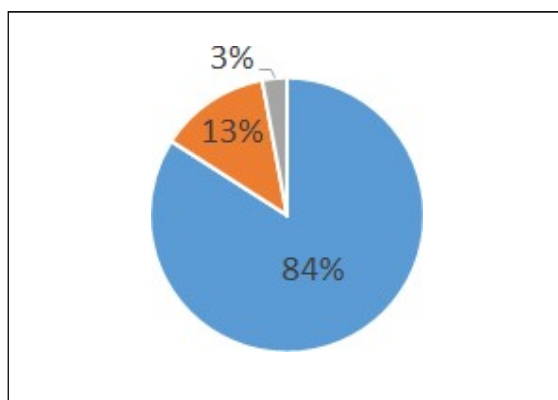
■ ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満 ■ オ. 不満



(3) プログラム内容は訪問予定地へ渡航する前の事前学習として役に立ちましたか。

■ ア. 満足 ■ イ. ほぼ満足 ■ ウ. 普通
■ エ. やや不満 ■ オ. 不満

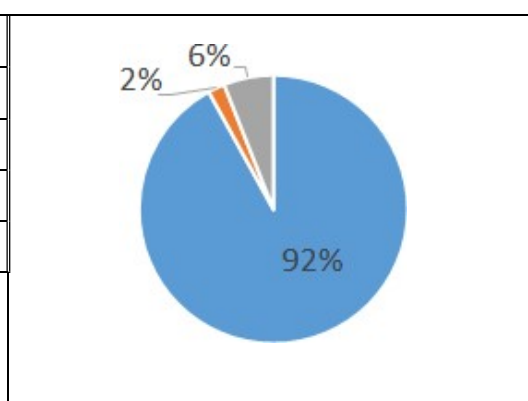
	人数
ア. 満足	58
イ. ほぼ満足	9
ウ. 普通	2
エ. やや不満	0
オ. 不満	0
合計	69



(4) 訪問予定地での日本の活動（国際貢献）やプレゼンスに対する理解が深まりましたか。

■ ア. はい ■ イ. いいえ ■ ウ. どちらでもない

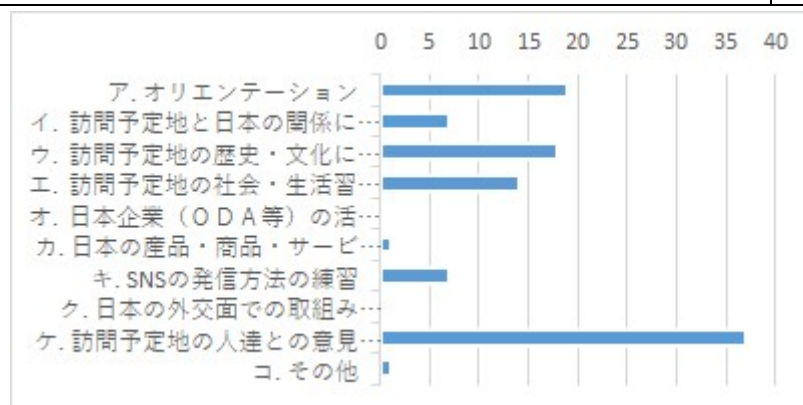
	人数
ア. はい	46
イ. いいえ	1
ウ. どちらでもない	3
合計	50



(5) 今回のプレ・プログラムで強く印象に残った内容は何ですか。（当てはまるものすべてに回答してください）

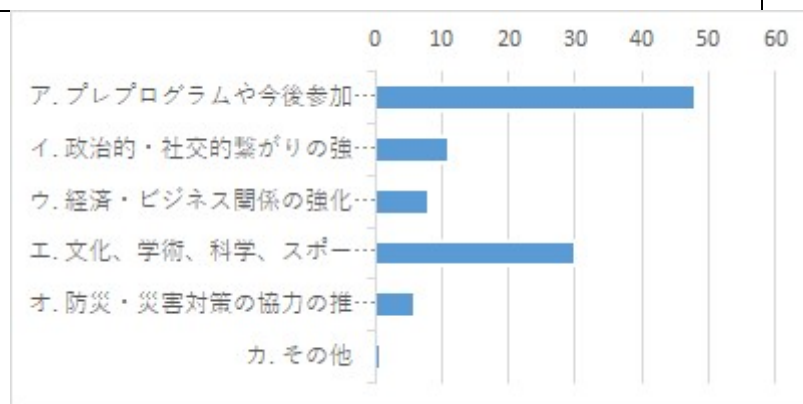
	人数
ア. オリエンテーション	19
イ. 訪問予定地と日本の関係についての講義・意見交換	7
ウ. 訪問予定地の歴史・文化についての講義・意見交換	18
エ. 訪問予定地の社会・生活習慣についての講義・意見交換	14
オ. 日本企業（ODA等）の活躍についての講義・意見交換	0
カ. 日本の産品・商品・サービスの優位性についての講義・意見交換	1
キ. SNS の発信方法の練習	7
ク. 日本の外交面での取組み（ODA・安全保障等）	0
ケ. 訪問予定地の人達との意見交換・交流	37

コ. その他	1
合計	104



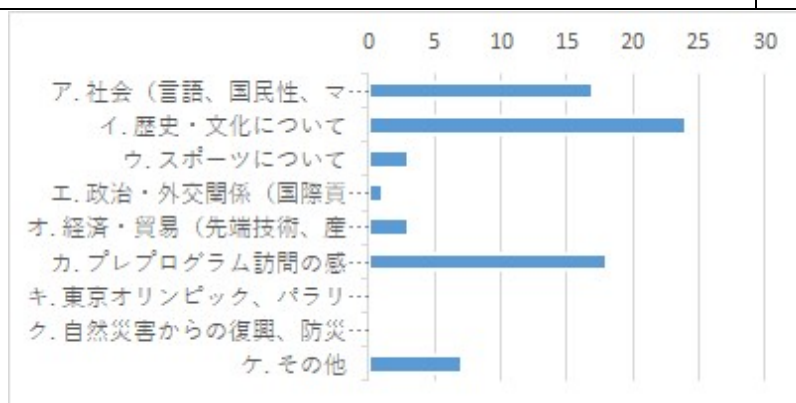
(6) 現時点で、今後、訪問地との関わりについて、どのように発展させていきたいと考えていますか。(複数回答可)

	人数
ア. プレ・プログラムや今後参加予定の訪問先で出会った人との繋がりを維持・強化	48
イ. 政治的・社会的繋がり強化に関する活動への参加	11
ウ. 経済・ビジネス関係強化に関する活動への参加	8
エ. 文化、学術、科学、スポーツ等の交流の推進に関する活動への参加	30
オ. 防災・災害対策の協力の推進に関する活動への参加	6
カ. その他	1
合計	104



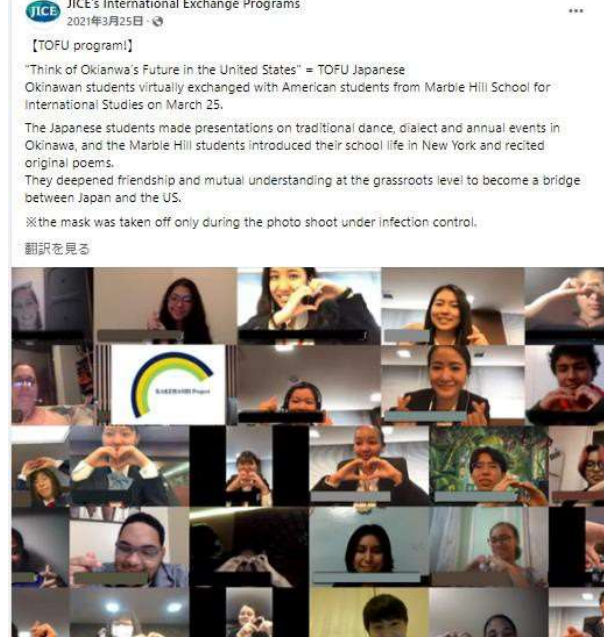
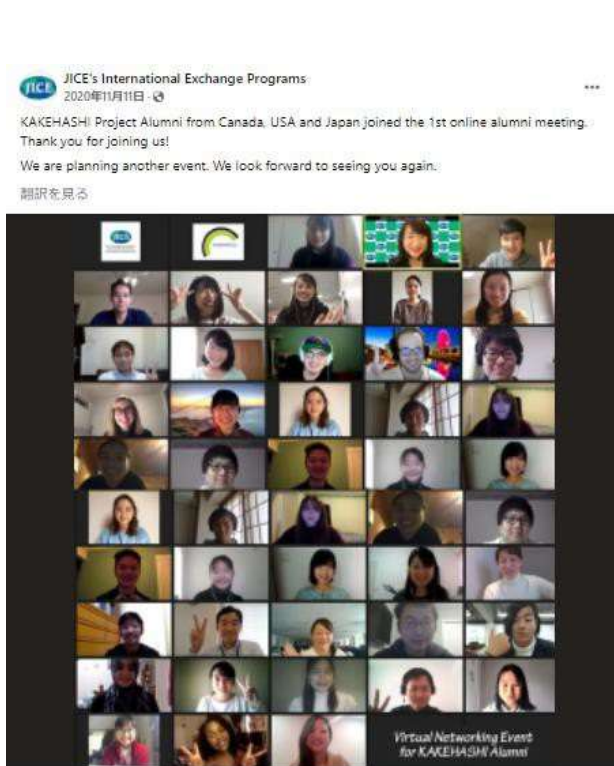
(7) 英語または訪問地の言語で発信した内容は何ですか。(複数選択可)

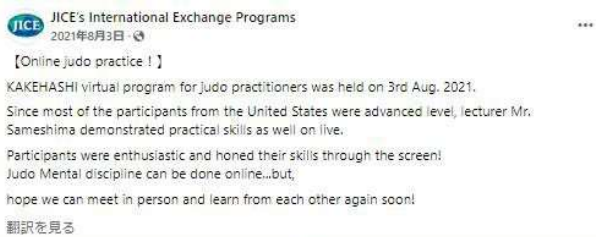
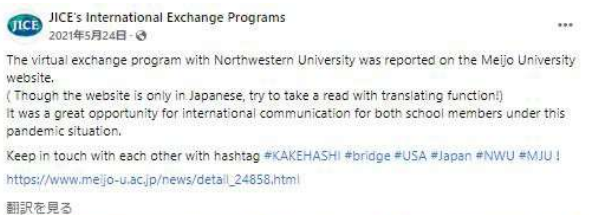
	人数
ア. 社会（言語、国民性、マナー）について	17
イ. 歴史・文化について	24
ウ. スポーツについて	3
エ. 政治・外交関係（国際貢献・安全保障等）について	1
オ. 経済・貿易（先端技術、産業、商品・サービス等）について	3
カ. プレ・プログラム訪問の感想・訪日時々の展望	18
キ. 東京オリンピック、パラリンピック関連情報	0
ク. 自然災害からの復興、防災対策	0
ケ. その他	7
合計	73



4. 広報・フォローアップ業務

JICE 国際交流フェイスブックページにおいて、関連記事を掲載した。

 招へいプログラム実施報告(フェイスブック)	 派遣プログラム実施報告(フェイスブック)
 Virtual Networking Event for KAKEHASHI Alumni	 Japan's Friendship Ties Program KAKEHASHI Project Host Town Webinar

FU プログラム実施報告(フェイスブック)	ウェビナー実施報告(フェイスブック)
  招へいプログラム実施報告(フェイスブック)	  報道記事の紹介(フェイスブック)

以上

別紙 1 : 報道記事

別紙 2 : 参加者によるプログラム後の発信好事例

令和2年度対日理解促進交流プログラム
「カケハシ・プロジェクト」 （米国）

最終事業報告書
別紙 1. 報道記事

業務実施期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

令和 4 年 5 月 31 日

一般財団法人 日本国際協力センター

オンラインプログラム

1. ジャパンボウル		日付	2020/5/30
媒体	NHK		
タイトル	米の日本語学ぶ高校生の大会 新型コロナ影響でネット開催		
URL	https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200530/k10012451701000.html		

米の日本語学ぶ高校生の大会 新型コロナ影響でネット開催

2020年5月30日 14時17分

アメリカで日本語を学ぶ高校生たちが日本についての知識をクイズ形式で競う大会が開かれ、ことしは、新型コロナウイルスの影響で初めてインターネット上で行われました。



この大会はアメリカで日本語を勉強する高校生たちが、日本の文化や歴史など幅広い知識を競う「ジャパン・ボウル」で、毎年春に首都ワシントンで開催されています。ことしは新型コロナウイルスの影響で初めてインターネット上で行われました。

全米の29の高校から170人の生徒が参加し、ネット上に表示される写真から日本のどこの都市かやどこの県のゆるキャラなのか答える問題などに挑戦しました。

また、慣用句などを使って文章を作る問題では「耳を疑う」が出題され、生徒が「コロナウイルスのせいで学校が開まると聞いた時、耳を疑った」と流ちょうな日本語で答えると、日本人の審査員から「ワンドフル」という声が上がっていました。

アメリカでは、日本のアニメやゲームがきっかけで日本語を学び始める人が少なくなく、日本の国際交流基金によりますと、アメリカで日本語を学ぶ人は、全体で16万6000人いると見られるということです。

優勝した生徒には例年、賞品として日本への旅行が贈られますが、ことしは新型コロナウイルスの影響で、旅行の日程などの詳細はまだ決まっていないということです。

2. ジャパンボウル		日付	2020/5/30
媒体	NHK World		
タイトル	Japanese quiz for US students held online		
URL	https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/news/20200530_17/		

Japanese quiz for US students held online

NHK -- MAY 31



High school students learning the Japanese language in the United States have had their knowledge of Japan put to the test in an annual quiz.

The Digital Japan Bowl Championship is held every spring in Washington. This year's event took place online for the first time due to the coronavirus pandemic.

The competition attracted 170 participants from 29 high schools across the US.

Besides being questioned about Japanese culture and history, the students were also asked to identify cities from displayed pictures and prefectures from images of local mascots.

In another part of the quiz, the participants were asked to make a sentence using the Japanese idiom meaning "Can't believe one's ears."

When one student answered in fluent Japanese, "I couldn't believe my ears when I heard that my school would be closed due to the coronavirus," the judge described it as, "Wonderful."

A considerable number of people in the United States are learning Japanese spurred on by an interest in Japanese animation and games.

The Japan Foundation, a Tokyo-based cultural-exchange institution, estimates that 166,000 people are studying the language in the US.

The winner of the competition is usually awarded a trip to Japan. But the organizer says a travel schedule for this year's winner has not yet been decided due to the coronavirus pandemic.

4. 大学生招へい（テーマ：気候変動・環境）（中央フロリダ大学、グアム・コミュニティ・カレッジ）（山形大学）		日付	2021/9/28
媒体	山形大学		
タイトル	外務省「カケハシ・プロジェクト」オンライン交流が行われました		
URL	https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/information/event/report/20210928_03/		



5. 大学生招へい（テーマ：気候変動・環境）（中央フロリダ大学、グアム・コミュニティ・カレッジ）（山形大学）		日付	2021/9/28
媒体	山形大学工学部		
タイトル	気候変動・環境をテーマにオンライン交流～外務省「カケハシ・プロジェクト」～		
URL	https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/news/letter/news-20210929-01/		

> ニュース：工学部だより・2021年 > 気候変動・環境をテーマにオンライン交流～外務省「カケハシ・プロジェクト」～



ニュース
工学部だより
2021年

工学部だより

気候変動・環境をテーマにオンライン交流～外務省「カケハシ・プロジェクト」～

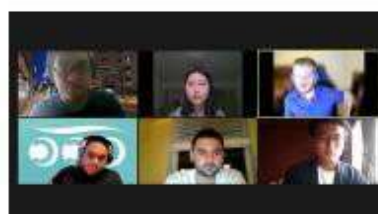
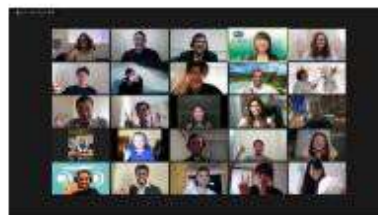
2021/9/29

令和3(2021)年9月25日（土）、山形大学工学部の学生とグアム・コミュニティ・カレッジ及び米国中央フロリダ大学の学生らが、気候変動・環境をテーマにオンライン交流を行いました。これは、一般財団法人日本国際協力センター（JICE）による北米を対象とした対日理解促進プログラム「カケハシ・プロジェクト」として実施されたもので、工学部の学生17名、米国の大学から18名が参加しました。

プログラムでは、それぞれの大学ごとに、大学・文化紹介や近年の異常気象が原因と思われる災害例について発表が行われたほか、6つのグループに分かれての意見交換も行われ、事前に調べた個人生活でのCO2 使用量を比較し、CO2 削減のために個人レベルで行っていることやすべきこと、また、すでに日本やアメリカの企業・国で行っていることなどに関して、活発に意見交換が行われました。

6. 大学生招へい（テーマ：気候変動・環境）（中央フロリダ大学、グアム・コミュニティ・カレッジ）（山形大学）		日付	2021/9/28
媒体	山形大学国際交流センター		
タイトル	（2021.9.25）外務省「カケハシ・プロジェクト」オンライン交流が行われました。		
URL	https://yu-eng-iec.sakura.ne.jp/ja/study-abroad/4140/		

28 Sep
(<https://yu-eng-iec.sakura.ne.jp/ja/study-abroad/4140/>)
ENG-
iec.sakura.ne.jp/ja/study-abroad/4140/



7. 大学生招へい（テーマ：ソーシャルイノベーションと起業）（マイルス・カレッジ）（明治大学）	日付	2021/9/28
媒体	明治大学	
タイトル	Meiji University Kakehashi Project	



Meiji University Kakehashi Project
 @Meiji.Kakehashi・大学

■ メッセージを送信
 お問い合わせ内容をお聞かせください。

[ホーム](#)
[レビュー](#)
[動画](#)
[写真](#)
[その他](#)


Meiji University Kakehashi Project
 2時間前

本で行われた米国Miles Collegeとの交流は大変素晴らしいものでした！米国在バーミンガム名誉領事Mr. Mark Jacksonも参加のもと行われた。明治の学生の皆さんの「社会イノベーションと起業」のプレゼンは内容も素晴らしく見事でした。またMiles Collegeの皆さんからは米国内の経済格差と改善の戦略に関するプレゼンも大変素晴らしいかったです！グループディスカッションも含め、2時間1回ではもったいないくらいで、更なる交流が続くことを期待しております！JICEの皆様、素晴らしい機会をありがとうございました！
 Our project between Meiji Univ. and Miles College in the US were superb! All students' group presentations from Meiji about Social Innovations had great contents with fluent English speakings, while presentation from Miles College focusing on economic disparity was great and so impressive! I believe group discussions have students feeling to make more time to discuss further over this program, thankfully JICE gave us this wonderful opportunity!
 ※JICEのサイトでも紹介されました！A link below is a post by JICE
<https://www.facebook.com/jice.exchange/posts/243660017772002>



いいね！

コメントする

シェア

コメントする...
 Enterキーで投稿します。

8. 高校生招へい（テーマ：科学技術）（ワイアレア高校）（呉工業高等専門学校）		日付	2021/9/22
媒体	呉工業高等専門学校 HP		
タイトル	日本国際協力センター主催の「カケハシ・プロジェクト」で、 ハワイの学生とオンライン交流を行いました		
URL	https://www.kure-nct.ac.jp/newdiary/2021/09/22.html		

2021年9月22日（水）

日本国際協力センター主催の「カケハシ・プロジェクト」で、 ハワイの学生とオンライン交流を行いました

担当：機械工学科3年 藤元 優

僕たちは9月22日に日本の外務省が国際交流を目的とするプログラム「カケハシ・プロジェクト」に参加し、米国ハワイ州にあるWaialua School Roboticsの皆さんと楽しくオンラインで交流をしました。

僕はこのような海外の方と交流を図るプロジェクトへの参加は初めてで、初めは少し戸惑いながらの参加でしたが、いざ交流が始まるとそんな感じは一切なく、各ディスカッションで必死にコミュニケーションを取って話すことが出来たと思います。



スクリーンショット



交流会実施の様子

このプロジェクトを通して学んだことは学校での英語学習は何とか出来ていても、外に出て自分の英語を相手に伝えたり、英語圏の方々の話を直接聴き取ったりすることはなかなか難しいなということです。実際に英語を日常的に使われている方々と話し、聴くことも大切だなと思いました。

今度またこのような機会があれば是非参加してもっと英語のスキルを磨きたいなと思いました。

9. 高校生招へい（ワシントン DC コロンビアハイッツ・エデュ ケーションナルキャンパス高校、ベレア高校）（広陵高校）		日付	2021/10/1
媒体	KORYO NOW! a new edition Hello world! This is KORYO official blog site!!		
タイトル	カケハシ・プロジェクト		
URL	https://koryo.matrix.jp/wordpress/?p=8494		

KORYO NOW! a new edition
Hello world! This is KORYO official blog site!!

カケハシ・プロジェクト

投稿日時: 2021年10月1日 投稿者: takashita

10月28日（水）の14時30分頃開始し、日本企業が主催する国際交流事業の一つである「対日理解促進プログラム（カケハシ・プロジェクト）」として、アメリカ合衆国の2校の高校生25名と本校の高校生25名との国際交流が実現することになりました。今回はワシントンDCにあるコロンビアハイッツ・エデュケーションナルキャンパス高校とデラウェア州のベレア高校とが06時発着でオンライン交流しました。



■今年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、対面での交流が困難な状況となりました。そのため、オンラインでの交流を実施しました。



本校の生徒たちは、国際交流しながらも感染対策を徹底してコミュニケーションをとっていました。ICTの活用から始まりました。みんなのことを存分に与えられたのは、生徒にとって本当に大切な経験になったように思います。

最後にこのプロジェクトを担当した「国際交流人日本国際交流センター」のホームページで紹介されていた記事文章を引用させていただきます。

Japanese Language and Culture Exchange

American high school students from Houston and Washington D.C. had an online exchange with Japanese high school students on September 27th, 2021. It was so fun that American students ask questions in Japanese, and Japanese students ask questions in English. They've learned cultural differences through the "show and tell" session and experienced the fun of language in the breakout rooms. There is no better way to learn than through actual interaction. We hope they would be Kakehashi Bridges between the US and Japan!

カテゴリー: EEO, 国際交流関係, 学校行事 作成者: takashita / 5=マリンク [https://koryo.matrix.jp/wordpress/?p=8494]

10. 大学生招へい（オハイオ大学、ウィスコンシン大学マディソン校、リーハイ大学）（小松大学）		日付	2021/9/14
媒体	小松大学 HP		
タイトル	外務省の対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」を開催しました		
URL	https://www.komatsu-u.ac.jp/whatsnew/news/2021/09/post-141.html		

[ホーム](#)
[NEWS一覧](#)
[ニュース](#)
[外務省の対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」を開催しました](#)

外務省の対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」を開催しました

NEWS 一覧

イベント

ニュース

入試

ニュース

2021年9月14日

9月10日（金）、外務省の対日理解促進交流プログラムである「カケハシ・プロジェクト」を米国のオハイオ大学、ライスユニオン州立大学マディソン校、リーハイ大学とともにオンラインにて開催しました。国際文化交流学科から16名の学生が参加し、グループごとに日本の食文化、日本語、九谷焼、金沢パーチャルツァーをテーマとした発表を行った後、米国の学生たちとのディスカッションで、交流を深めました。本学学生の発表中に米国の学生たちからコメントが殺到するなど、プロジェクトは大盛況となりました。映像では、在ニューヨーク総領事館立寄センター長から学生たちへ、海外で学ぶ経験の大切さについて、親いメッセージが送られました。

【カケハシ・プロジェクトとは】

日本と北米との間で外務省力を有し、親交を深める人材を輩へい、教育する事業、対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派の発掘、裾野を自らにより深める通じた対外関係強化等により、我が国内外の交流を拡大することを目的としている。令和2年度および令和3年度はオンラインで開催。

（外務省HP）

https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/page25_000243.htm



11. アジア系青少年招へい（福島大学）		日付	2021/6/16
媒体	福島大学 HP		
タイトル	対日理解促進交流「カケハシ・プロジェクト」が行われました！		
URL	http://kokusai.adb.fukushima-u.ac.jp/info/cat4/2021/06/16/009352.html		



本学学生とアメリカ人学生とのオンライン交流会が行われました。

この交流会は、一般財団法人日本国際協力センター（JICC）の主催で行われ、本学とアメリカから計50名近くの学生が参加しました。

第1部では、本学教員のマクマイケル先生より福島大学および震災後の大学の取り組みについて紹介があったのち、福大生から彼自身が福島大学で4年間履修してきた震災関連の授業について発表がありました。



〔マクマイケル先生による講演〕



〔福大生による発表〕

12. カケハシ・イノウエ・プログラム同窓会		日付	2022/3/09
媒体	USJC ウェブサイト		
タイトル	TOMODACHI KAKEHASHI Inoue Scholars For a Virtual Dialogue & Mixer		
URL	https://www.usjapancouncil.org/news/tomodachi-kakehashi-inoue-scholars-gather-for-a-virtual-dialogue-mixer/		

TOMODACHI KAKEHASHI Inoue Scholars Gather For a Virtual Dialogue & Mixer

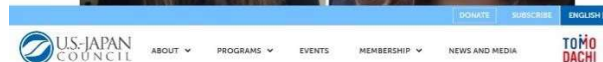


Pictured above: Howard University and George Washington University TOMODACHI Kakehashi Inoue Scholarship Program alumni with Mr. Ken Inoue (far row, third from left) Image Credit: JICE

On March 8, a private virtual event for TOMODACHI KAKEHASHI Inoue Scholars Program participants from Howard University. The event was organized by USJC and Japan International Cooperation Center (JICE), the implementer of the program. The TOMODACHI KAKEHASHI Inoue Scholars Program is a youth exchange that provides American and Japanese university students an opportunity to learn about each other's countries and cultures. Initiated in 2014, one of the goals of the program is to honor the life and legacy of Senator Daniel K. Inouye and offer the participants an opportunity to learn about his contribution to his country, heritage, and to the U.S.-Japan relationship.

Participants from Howard University gathered for a special opportunity to engage with Member of the USJC Board of Councilors Ken Inoue, who is the son of Senator Daniel K. Inoue, and alumnae Samsara Counts and Honoka Nishio. The event kicked off with special remarks from Kohei Akiyama, Director at North American Affairs Bureau at Ministry of Foreign Affairs of Japan, and Dr. Leonard Muka, World Languages & Cultures Department Chair at Howard University. Both Mr. Akiyama and Dr. Leonard emphasized the importance of people-to-people exchanges across different cultures, and importance cultural and language exposure in shaping future leaders.

In a dialogue led by USJC President and CEO Suzanne Basalla, Mr. Inoue shared stories of his father, including the Senator's motivation for pursuing politics and the highlights of his career, from Hawaii to the Capitol. Upon hearing Senator's story, program participant Terry Jones Jr. asked Mr. Inoue for ways in which he and his program participants can help continue the Senator's legacy. In his response, Mr. Inoue shared a message that his father believed deeply in: civic engagement. "[My father] saw civic engagement as a vital importance... No matter what you do in this world, you need to participate and be an active participant."



University and Sophia University, respectively. In recounting their experiences, Ms. Counts and Ms. Nishio shared the lasting impact that the TOMODACHI program has made on them, leading to their continued involvement in TOMODACHI alumni activities as well as other opportunities presented by the USJC.



13. 日本語弁論大会成績優秀者招へい（神奈川大学） 日本語学習者招へい（神奈川大学）		日付	2022/3/28
媒体	神奈川大学 HP		
タイトル	対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」オンライン交流会を実施しました		
URL	https://www.kanagawa-u.ac.jp/international/news/details_23263.html		

2022.03.28

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」オンライン交流会を実施しました



国際センターでは3月15日（火）に、「カケハシ・プロジェクト」の一環として、本学学生と北米の日本語弁論大会で入賞した学生および、アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター（IUC）学生とオンライン交流会を実施しました。

同プログラムは日本政府が推進する国際交流事業の1つで、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し将来を担う人材を招へい・派遣しています。人的交流を通じて、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策に関する対日理解の促進を図るとともに、親日派・知日派を発掘し、日本の外交姿勢や魅力等について被招へい者・被派遣者自ら積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、日本の外交基盤を強化することを目的としています。カケハシ・プロジェクトは、「対日理解促進交流プログラム」のうち北米を対象とした交流事業で、現在は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う渡航制限のため、渡航前にオンライン形式での「プレプログラム」を実施しています。

プレプログラムの一環として実施をした今回のオンライン交流会では、本学より24名の学生が参加し、交流会前半には本学給費生2名より「神奈川大学」と「横浜市」について発表が行われました。交流会の大部分を占めたブレイクアウトルーム内での交流パートでは、各機関からの参加学生が、政治や、将棋、落語、日本画、宗教観等の日本文化に関する発表をブレイクアウトルーム内で行い、発表後にそれぞれのテーマについて各学生が活発に意見交換を行い、国際交流や日本文化に対して理解を深めました。

コロナ禍により、オンラインでの実施となった本交流会ですが、参加した学生の中には交流会途中で連絡先を交換している学生も見受けられました。今後コロナ禍が収束した際にはカケハシ・プロジェクト関連のプログラムを対面で実施する予定としていますので、今回の交流会には参加することができなかった学生の皆さんにも、ぜひその際はご参加いただき、国際交流や、日本文化について関心をより高めていただきたいと思います。



令和2年度対日理解促進交流プログラム
「カケハシ・プロジェクト」 （米国）

最終事業報告書

別紙 2. 参加者による発信好事例

業務実施期間 令和 2 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日

令和 4 年 5 月 31 日

一般財団法人 日本国際協力センター

1. 米国 ホストタウン講義		日付	2021/5/28
タイトル	講義についての発信 (Facebook)		

Had a great Zoom Meeting with the Kakehashi Staff and The Olympic Cabinet Secretariat Kaneko San. It was interesting having the discussion with other Alumni about what we would do as coordinators of the 2028 Olympics in Los Angeles. I think the key points we highlighted were having volunteers help out and creating sports jerseys with designs inspired from all the countries attending. Very similar to how Japan made kimonos for each of the countries that are attending the Tokyo 2020 (now 2021) Olympics!

#KAKEHASHI #Tokyo2020



コメント4件

2021 年 5 月 28 日

講義についての発信 (Facebook)

カケハシ・プロジェクトのスタッフと東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の金子氏との素晴らしい Zoom ミーティングに参加しました。他の同窓生との間で、2028 年のロサンゼルスオリンピックのコーディネーターとして何をすべきかを話し合ったことは興味深いことでした。私たちのグループが提案したポイントは、ボランティアに協力してもらうことや、全ての参加国のデザインを取り入れたジャージを作ること等です。日本が東京 2020（実際は 2021 年）のオリンピックに向けて各国の着物を作ったのと似ています。

2. 日系青少年招へい（和歌山大学）		日付	2021/6/30
タイトル	学校交流についての発信 (Facebook)		

I am so very grateful that I was selected to be a part of this year's virtual #KAKEHASHI Project and #bridgefortomorrow. As a mixed Japanese American who feels close to my Japanese roots, I am very interested in foreign policy as well as international relations between Japan and the U.S. Being able to speak to the students of Gifu University yesterday as well as the students of Wakayama University today, it was encouraging to meet people who were as interested in me as I was in them. I am glad that I was able to participate and show some of the diversity we have within the Japanese American Community here in the United States. As I want to be an advocate for my community, this program provided me the opportunity to further my understanding of my culture and the issues that plague both Japan and the U.S. Though this year's program was online, I do look forward to hopefully meeting a few of the people I was introduced to in person in the future! Thank you to the Japanese Ministry of Foreign Affairs for continuing to support the Kakehashi program!



2021 年 6 月 30 日

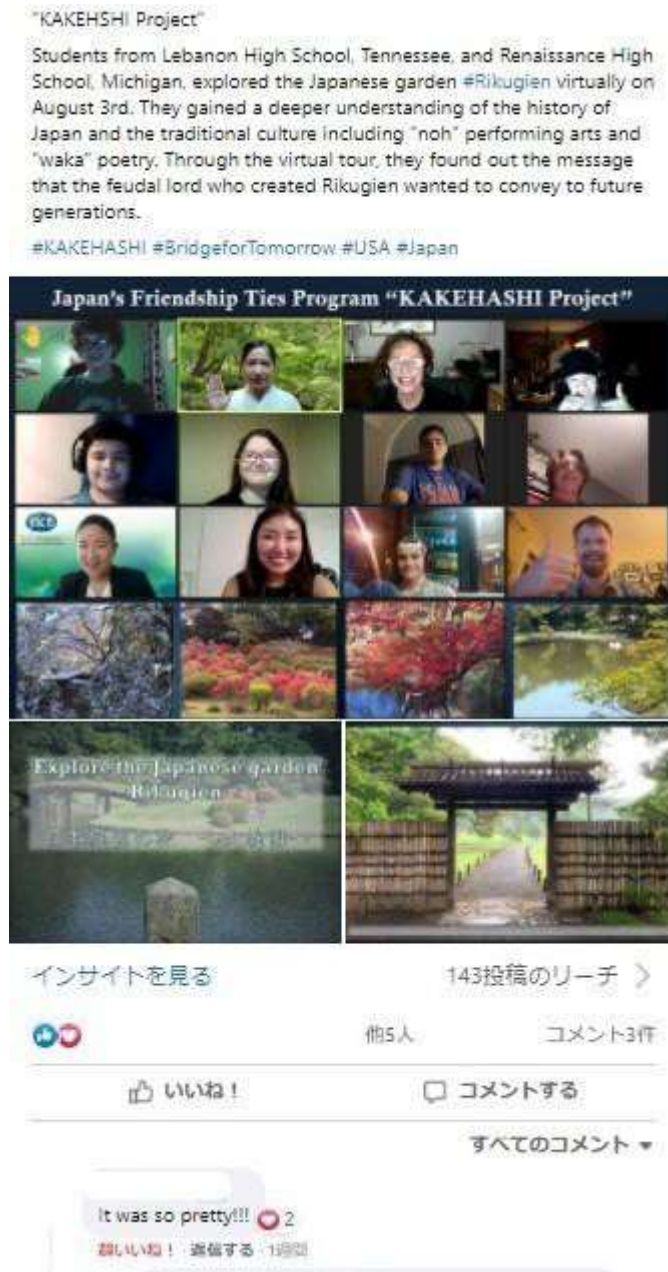
学校交流についての発信 (Facebook)

今年のオンラインのカケハシ・プロジェクト（#bridgefortomorrow）の一員に選ばれたことにとても感謝しています。日本のルーツを身近に感じる日系米国人として、私は外交政策や日本と米国の国際関係にとっても興味があります。

昨日は岐阜大学の学生、今日は和歌山大学の学生と話すことができましたが、私が彼らに関心を抱くように、私に興味を持ってくださった方々にお会いできたことは励みになりました。

米国の日系コミュニティの多様性を示すことができたことを嬉しく思います。私は自分のコミュニティの擁護者になりたいと思っているので、このプログラムは自分の文化や、日本と米国の両方を悩ませている問題について、さらに理解を深める機会を与えてくれました。今回はオンラインでのプログラムでしたが、将来、本日お会いした人々と対面できることを楽しみにしています。カケハシ・プロジェクトを継続的に支援している日本の外務省に感謝します。

3. 高校生招へい①（テーマ：日本語・日本文化）（レバノン高校、ルネッサンス高校）（六義園バーチャルツアー）	日付	2021/8/3
タイトル	講義についての発信 (Facebook)	

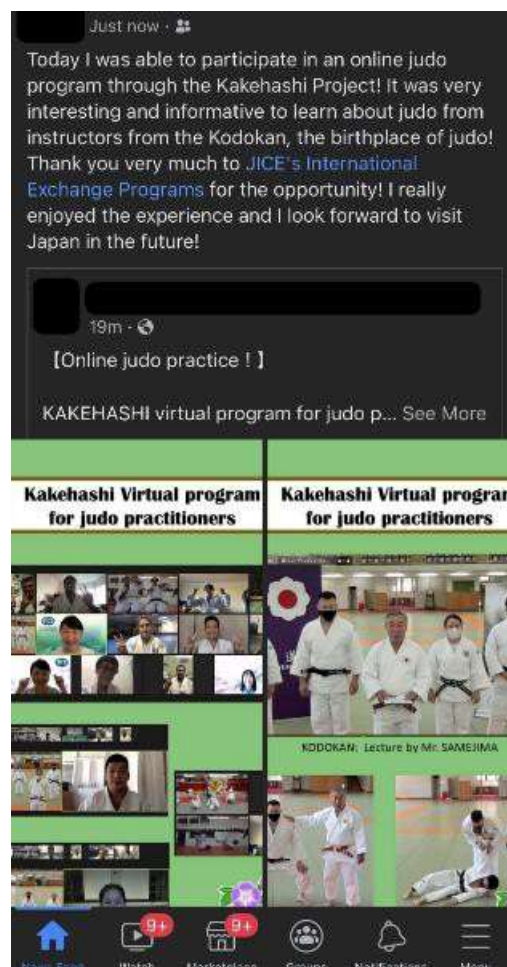


2021 年 8 月 3 日

講義についての発信 (Facebook)

「テネシー州のレバノン高校とミシガン州のルネッサンス高校の生徒が、8 月 3 日に日本庭園「六義園」をバーチャル視察しました。生徒たちは、日本の歴史や能、和歌などの伝統文化について理解を深めました。また、バーチャルツアーを通じて、六義園を造った大名が後世に伝えたかったメッセージを知りました。」との実施団体による投稿に対し、「とてもきれいでした!!!」とコメントがありました。

4. スポーツ招へい		日付	2021/8/3
タイトル	講義についての発信 (Facebook)		



2021 年 8 月 3 日

講義についての発信 (Facebook)

今日は、カケハシ・プロジェクトのオンライン柔道プログラムに参加することができました。柔道発祥の地である講道館の先生方から柔道について学ぶことができ、とても興味深く有益でした。このような機会を与えてくれた JICE の国際交流プログラムに心から感謝します。今回の経験は本当に楽しかったですし、将来日本を訪れることを楽しみにしています。

5. ユダヤ系米国人招へい（ブネイブリス）（被爆者講話・お盆の風習ウェビナー）	日付	2021/8/19
タイトル	講義についての発信 (Facebook)	



2021 年 8 月 19 日

講義についての発信 (Facebook)

カケハシ・プロジェクトの参加者は、被爆者の方から原爆の悲惨な影響についてお話を聞く機会を得ました。また、日本の伝統的な祝日である「お盆」についても学び、「お盆」とは、祖先や亡くなった大切な人に感謝する日であることを知りました。

関係者の皆さん、このような洞察に満ちた重要なイベントをブネイブリスとともに開催していただき、ありがとうございました。

6. ユダヤ系米国人招へい（AJC）（被爆者講話・座禅体験）		日付	2021/9/30
タイトル	AJC ニュースレター		

Bridging Ties between Young Jewish Professionals and Japan



API hosted a one-day virtual Kakehashi program on August 19, in partnership with AJC-ACCESS, the Japan International Cooperation Center, and the Japan Ministry of Foreign Affairs (MOFA). Rising Jewish professionals had the chance to hear the personal story of an atomic bomb survivor and insights from a Zen Buddhist priest. This program marks the sixth year that API has been invited to participate in MOFA's prestigious Kakehashi program. Our participation reflects API's commitment to nurture mutual exchanges between the Jewish and Japanese communities.

2021 年 9 月 30 日

講義についての発信 (Newsletter)

若手ユダヤ系米国人と日本とを結ぶ

API は 8 月 19 日に、単発のバーチャル・カケハシ・プログラムを実施しました。AJC-ACCESS、日本国際協力センター、日本の外務省との協働プログラムです。前途有望な若手ユダヤ系米国人たちは被爆者のお話と、禅寺僧侶の見識を伺う機会を得ました。このプログラムは、日本の外務省のカケハシ・プロジェクトにより API が日本に招へいされるようになって 6 年目の記念となりました。このイベントへの参加は、ユダヤ系米国人と日本社会との相互交流をはぐくむという API の約束を反映していると言えます。

7. 日本語弁論大会成績優秀者招へい（神奈川大学）		日付	2021/9/18
タイトル	学校交流についての発信 (Instagram)		



Sept. 18, 2021

Post about the School Exchange (Instagram)

Yesterday, I participated in the JICE Kakehashi Project online exchange event, and it was a lot of fun! Actually, this was my first time in a while practicing Japanese like this. I was a bit nervous, but everyone was really nice and we were able to have interesting, insightful conversations. We talked about the goals of the program, watched various presentations, and chatted with university students from the United States, Canada, and Japan. From this event, I learned a lot about Japanese history and culture.

In 1853, Commodore Matthew Perry arrived to Yokohama, eventually leading to the Meiji Restoration. For centuries, America and Japan have influenced each other's history. Today, Japan is an important ally of the US; through the Kakehashi Project, I hope to strengthen ties between these two countries.

With other university students, I talked about topics such as the pandemic, school, and of course, popular anime. I just wish I had more time! See you again in Japan.

2021 年 9 月 18 日

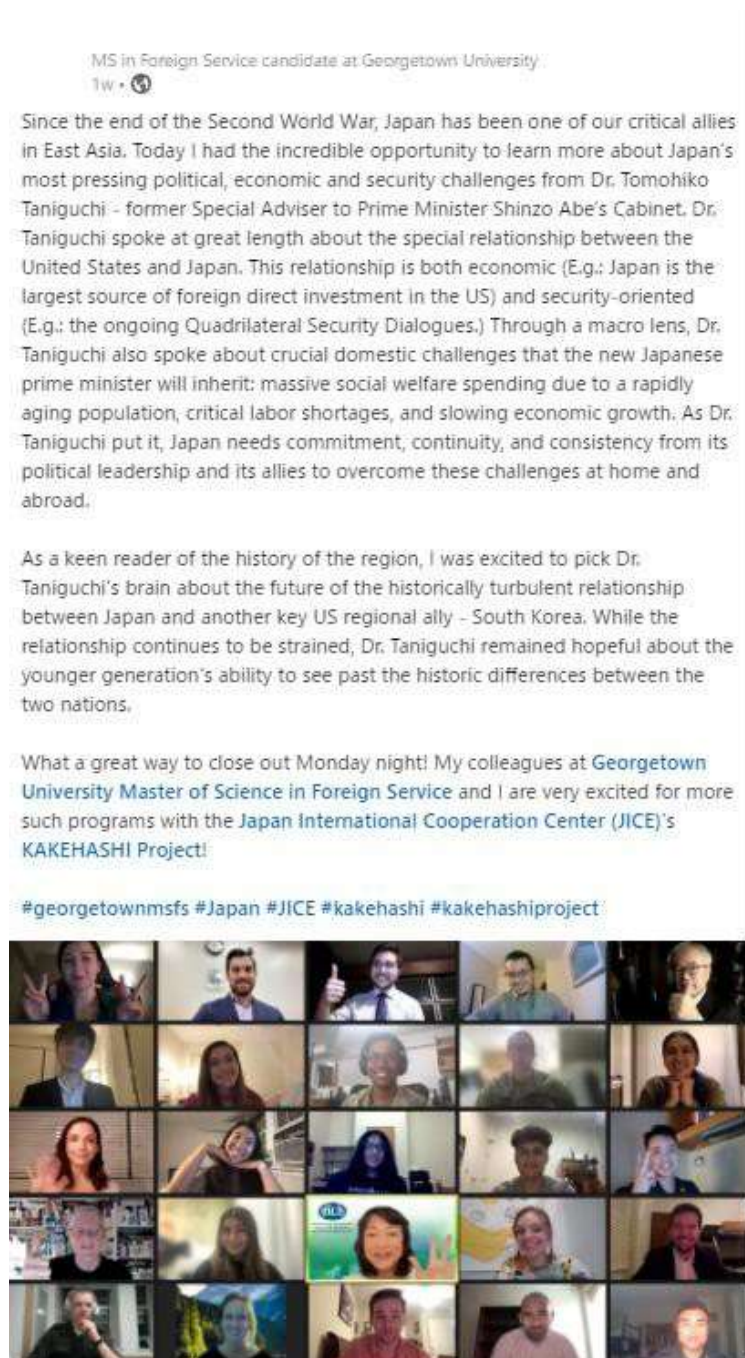
学校交流についての発信 (Instagram)

昨日は JICE のカケハシ・プロジェクトのオンライン交流イベントに参加して、大変楽しかったです。実は、このように日本語で会話をしたのは久しぶりでした。少し緊張しましたが、皆さんがとても優しく、興味深く洞察に満ちた会話をすることができました。このプログラムの目的について話したり、様々なプレゼンテーションを聞いたり、米国、カナダ、日本の大学生と一緒に喋ったりしました。このイベントで、日本の歴史や文化などを学びました。

1853 年にマシュー・ペリー提督が黒船で神奈川に到来し、明治維新につながりました。何世紀にもわたって、米国と日本は互いの歴史に影響を与えあってきました。現在、日本は米国の重要な同盟国ですので、カケハシ・プロジェクトを通じて日米関係を強化したいと思います。

他の大学生とコロナの状況や大学生活や人気のあるアニメなどについて話しました。もっと時間が欲しかったです。また日本で会いましょう。

8. 若手研究者招へい①（谷口先生講義）		日付	2021/9/21
タイトル	講義についての発信 (LinkedIn)		



2021 年 9 月 21 日

講義についての発信 (LinkedIn)

第二次世界大戦後、日本は東アジアにおける重要な同盟国のひとつとなっています。本日は、安倍晋三内閣の元内閣官房参与である谷口智彦先生から、日本の政治、経済、安全保障上の喫緊の課題についてお話を伺うという素晴らしい機会に恵まれました。谷口先生は、日米間の特別な関係について詳しく説明してくださいました。この関係は、経済的な側面（例：日本は米国にとって最大の海外直接投資先）と安全保障的な側面（例：現在行われている QUAD）の両方があります。谷口先生は、マクロ的な視点から、日本の新首相が引き継ぐことになる国内の重要な課題、すなわち、急速な高齢化に伴う膨大な社会福祉支出、深刻な労働力不足、経済成長の鈍化についても言及しました。谷口先生は、日本がこれらの国内外の課題を克服するためには、政治的リーダーシップと同盟国のコミットメント、継続性、一貫性が必要であると述べていました。

この地域の歴史を研究している私は、日本と米国のもう一つの重要な同盟国である韓国との間の歴史的に混乱した関係の将来について、谷口先生の意見を聞きたいと思いました。谷口先生は、日本と韓国の関係は依然として緊張していますが、若い世代が両国間の歴史的な違いを乗り越えていくことに期待を寄せておられました。

月曜の夜を締めくくるにふさわしい内容でした。ジョージタウン大学外交政策大学院の同僚と私は、日本国際協力センター（JICE）が実施するカケハシ・プロジェクトによるこのようなプログラムに今後も期待しています。

9. 高校生招へい（テーマ：科学技術）（ワイアレア高校）（呉工業高等専門学校）	日付	2021/9/22
タイトル	学校交流についての発信（呉工業高等専門学校ウェブサイト）	

2021年9月22日（水）

日本国際協力センター主催の「カケハシ・プロジェクト」で、 ハワイの学生とオンライン交流を行いました

担当：機械工学科3年 藤元 優

僕たちは9月22日に日本の外務省が国際交流を目的とするプログラム「カケハシ・プロジェクト」に参加し、米国ハワイ州にあるWaialua School Roboticsの皆さんと楽しくオンラインで交流をしました。

僕はこのような海外の方と交流を図るプロジェクトへの参加は初めてで、初めは少し戸惑いながらの参加でしたが、いざ交流が始まるとそんな感じは一切なく、各ディスカッションで必死にコミュニケーションを取って話すことが出来たと思います。



スクリーンショット



交流会実施の様子

このプロジェクトを通して学んだことは学校での英語学習は何とか出来ていても、外に出て自分の英語を相手に伝えたり、英語圏の方々の話を直接聴き取ったりすることはなかなか難しいなということです。実際に英語を日常的に使われている方々と話し、聴くことも大切だなと思いました。

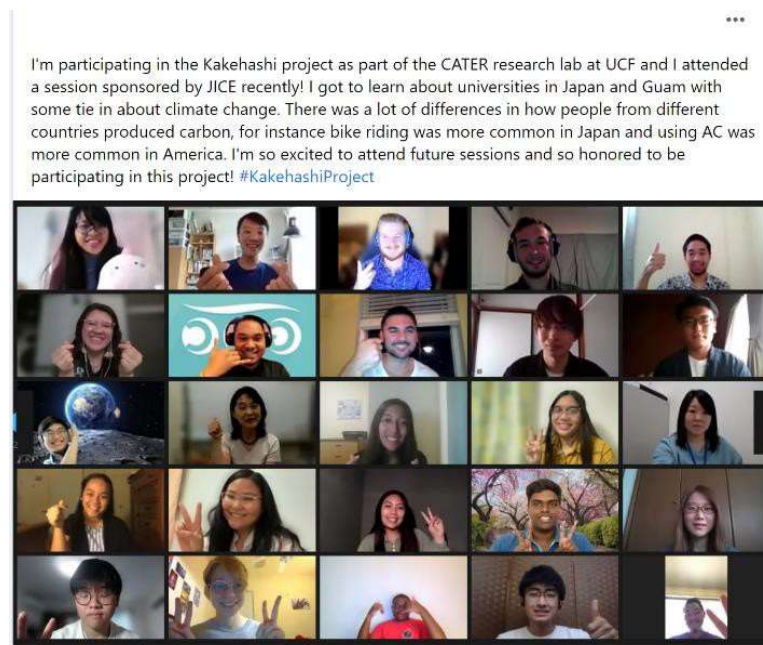
今度またこのような機会があれば是非参加してもっと英語のスキルを磨きたいなと思いました。

Sept. 22, 2021

Post about the School Exchange (National Institute of Technology, Kure College Website)

On September 22, we participated in Kakehashi Project, an international exchange project of the Ministry of Foreign Affairs of Japan, and enjoyed an online exchange with everyone from Waialua High School in Hawaii, USA. This was my first time participating in a project to interact with people from abroad, and at first I was a little intimidated, but when the exchange began, I didn't feel that at all, and I think I was able to do my best to communicate in each discussion. What I learned through this project, was that even if I can learn English at school somehow, that doesn't mean that I can easily go out and talk to someone in English, or directly understand what a native speaker is saying. I thought it was also important to talk and listen to people who actually use English on a daily basis. If I have this opportunity again, I would like to participate and improve on my English even more.

10. 大学生招へい（テーマ：気候変動・環境）（中央フロリダ大学、グアム・コミュニティ・カレッジ）（山形大学）		日付	2021/9/25
タイトル	学校交流についての発信 (Facebook)		

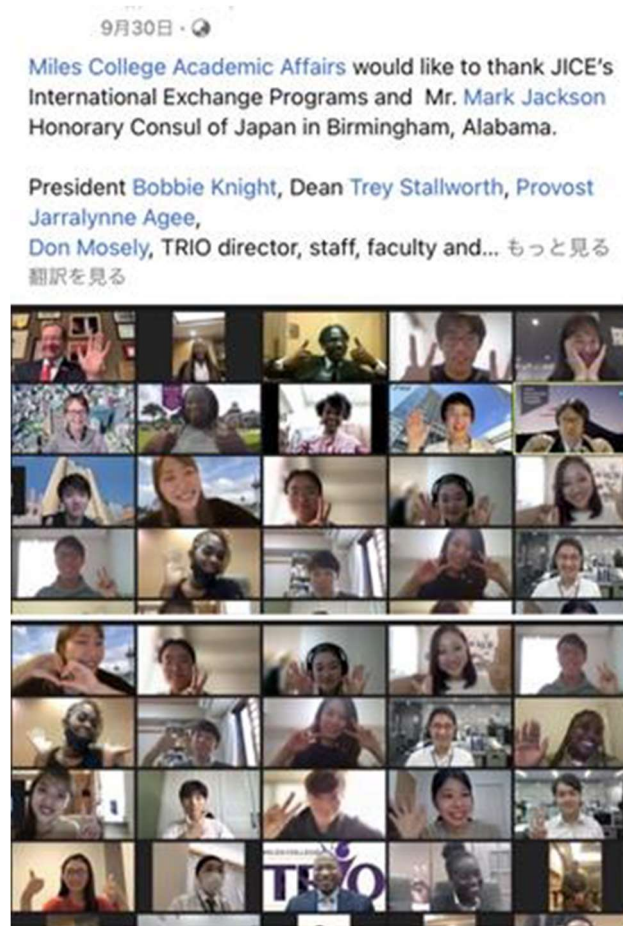


2021 年 9 月 25 日

学校交流についての発信 (Facebook)

私は中央フロリダ大学の CATER 研究室の一員としてカケハシ・プロジェクトに参加していますが、先日 JICE 主催のセッションに出席しました。日本とグアムの大学について、気候変動に絡めて学ぶことができました。例えば、日本では自転車に乗るのが一般的で、米国ではエアコンを使うのが一般的であるなど、国によって二酸化炭素の排出方法に違いがあることがわかりました。今後のセッションに参加することをとても楽しみにしていますし、このプロジェクトに参加できたことをとても光栄に思います。

11. 大学生招へい（テーマ：ソーシャルイノベーションと起業）（マイルス・カレッジ）（明治大学）	日付	2021/9/30
タイトル	学校交流についての発信（Facebook）	



2021 年 9 月 30 日

学校交流についての発信（Facebook）

マイルス・カレッジ・アカデミック・アフェアーズは、JICE の国際交流プログラムとマーク・ジャクソン在バーミングナム名誉領事に感謝申し上げます。

ボビー・ナイト理事長、トレイ・ストールワース学部長、ジャラリン・エイジ副学長、ドン・モーゼリー学生支援課ディレクター、スタッフ、教職員、学生は、日本の明治大学の学生と教員と日本の外務省の代表者との間で素晴らしい経験をしました。昨夜、カケハシ・プロジェクトのオンライン交流で素晴らしいことをたくさん学びました！本当に信じられないほどの経験でした。この活動は私たちに多くのことを教えてくれました。近い将来、さらに多くの知識を得られることを楽しみにしています。

12. AJC 外交官とのネットワーキングイベント		日付	2022/3/3
タイトル	同窓会についての発信 (Twitter)		

Yesterday, @AJCACCESS leaders met with young Japanese diplomats to discuss 🇺🇸 - 🇯🇵 and 🇮🇱 - 🇯🇵 relations, as well as those between the Japanese and Jewish peoples.

We are grateful for our continued partnership with @MofaJapan_en and JICE in deepening these ties.

#Kakehashi



午後11:52 · 2022年3月3日 · Twitter Web App

2022 年 3 月 3 日

同窓会についての発信 (Twitter)

昨日、AJC ACCESS のリーダーたちは日本の若手外交官と会い、日米及び日イスラエル関係、そして日本とユダヤ民族の関係について話し合いました。

日本の外務省と JICE との継続的なパートナーシップにより、この絆が深まることに感謝します。

13. ブネイブリス ネットワーキングイベント		日付	2022/3/4
タイトル	交流についての発信 (Instagram)		



jasonlangsner It was great tonight to virtually return to #Japan with the #JICE International Exchange Programs' #kakehashi project with Jewish American leaders.

I visited Japan a few years ago with @bnaibrith young professional volunteers and tonight they organized a wonderful sushi making class in Tokyo and zoomed out to #BnaiBrith Connect volunteers from across the U.S.



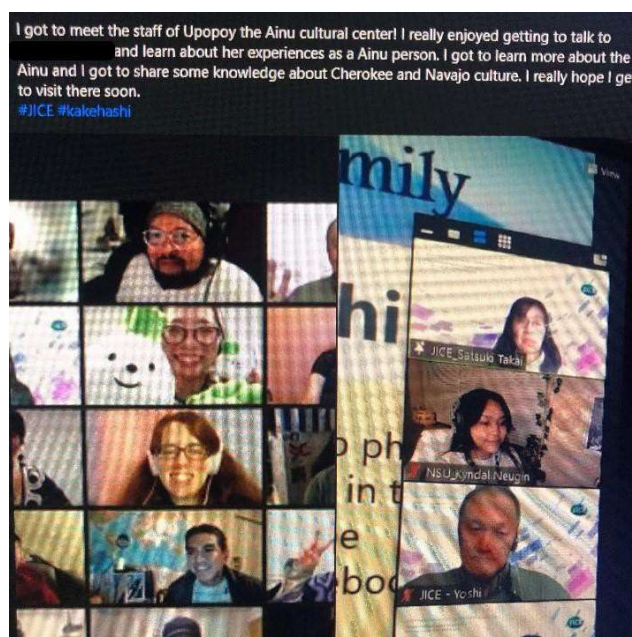
2022 年 3 月 4 日

交流についての発信 (Instagram)

今夜は、JICE 国際交流プログラムの「カケハシ・プロジェクト」で、ユダヤ系米国人のリーダーたちと一緒に、オンラインで日本に帰ることができ、とても良かったです。

数年前にブネイブリスの青年社会人の有志と一緒に日本を訪れました。そして今夜は、東京で素晴らしい寿司の作り方の話があり、全米から集まったブネイブリスの有志と Zoom で参加しました。

14. カケハシ・イノウエ・プログラム同窓会		日付	2022/3/9
タイトル	学校交流についての発信 (Facebook)		



2022 年 3 月 8 日

学校交流についての発信 (Facebook)

アイヌ文化センター「ウポポイ」のスタッフに会いました。スタッフの方とお話して、アイヌとしての彼女の経験を知ることができて楽しかったです。アイヌについて更に学び、チェロキーやナバホ文化についての知識を共有しました。本当にすぐ訪問したいです。